

ワークライフ支援室(男女共同参画推進室)主催による第4回女性研究者情報交換会を、2月4日(木)昼食時に、Fu's カフェで開催しました。今回は、「[ライフイベントにある教職員が土・日の出務を乗り切るために](#)」というテーマを設定しました。

今回は、テーマに関心のある男性教職員にも参加を呼びかけることになりました。男性の参加はワークライフ支援室の関係者だけでしたが、後期試験中にもかかわらず前回の参加者を上回る23名の参加がありました。

女性研究者情報交換会のための特別メニューを頂きながら、今回のテーマについて楽しく賑やかに情報を交換しました。事前の意見収集や交換会後におこなったアンケート調査には様々な意見が寄せられ、その中には育児だけでなく介護についても課題として取り上げてほしいとの要望や、育児や介護に役立つ口コミ情報を入手できれば心強いサポートになるとの意見がありました。この度の情報交換会で収集した意見は、ワークライフ支援室会議で取り上げ、検討する予定です。

この情報交換会は、日頃、交流が難しい他学部の女性教員同士が親睦を深める機会になりました。アンケート調査には、「参加してよかったです」と殆どの参加者から回答がありました。今後の改善点として、テーブルが大きすぎて遠くの席の人とは話しにくかったなどの指摘がありました。

【情報交換会の改善点および感想】

- 机がもう少し小さいと話しやすいかもしれません。
- 大人数なので小グループ(6~7人)でも楽しいかもしれません。
- 席次を学部が交差するようにすると色々な方々とお話ができるかもしれません。
- もう少し時間が取れたらいかと思います。
- もっと時間をとり、じっくり話せるような機会があればいいですね(学外で飲み会?など)
- 他の学科の女性教員と話ができるることは良かったと思いました。

【今回のテーマ「ライフイベントにある教職員が土・日の出務を乗り切るために」に関して】

- 「乗り切るために」ではなく、少なくして欲しいです。
ある程度は仕事なので仕方ありませんが、もう少し工夫できるのではないか。
- 土・日の出務を減らすように働きかけてはいかがでしょうか。センター、一般入試監督の配置効率化を考えていただきたいです。
- 教育懇談会と就職懇談会と一緒に開催するなど、業務の合理化も考えてはどうでしょうか。
- 女性教員は土・日の出務は困るということをもう少しアピールすべきではないでしょうか。
- 大学のイベントにおいて、全教職員出勤という体制を見直すべきではないでしょうか。入試監督の人配削減案が今回の話の中で出てきました。
- イベントがあるのが分かっているので、1ヶ月前程度には予定を頂きたいと思います。
- 土日に出勤した場合代休がとれるが、仕事や実習で決められた週の中でとる事がむずかしい状況です。できれば好きな時に代休をとりたいと思います。
- 時短勤務があれば助かります。
- 非常にいいテーマで先生たちの感想、体験談、情報等、またHPで見られたらいいと思います。
- 親世代と同居しているので子育てはのりきっていますが、後に介護になると思うと不安です。

